

日本ラテンアメリカ学会

会 報

13号別冊

所蔵会員業績目録

1980年6月発足以来，1982年12月までの到着分

1 雑誌及び三人以上の共著書籍

〔誌〕『イベロアメリカ研究』（上智大学

イベロアメリカ研究所，1979年7月創刊）

○4巻1号（通巻6号，1982年1月）

執筆者 清水憲男・小林一宏・G. Harvey

Gardiner・三田千代子・乗浩子

○4巻2号（通巻7号，1982年7月）

執筆者 Miguel Urrutia・Gustavo

Andrade・高橋都彦・罗栄渠・布施和博

〔誌〕『インパクト』5号，（イザラ書房，1980年3月）特集 — 第三世界の民族と革命，執筆者 青木芳夫「メキシコ・ウェットバックの背景」・原田金一郎「ペルーにおける共同体と社会主義」

〔誌〕『海』12巻10号（中央公論社，1980年10月）特集 — カルロス・フエンテス — 祝祭としての言語 翻訳 野谷文昭「純なる魂」「チャック・モール」・木村栄一「ハーマン・メルヴィル — 象徴としての小説」「ジャン・ジュネの瀆聖劇」「ルイス・ブニュエル — 自由としての映画」「フエンテス論 — 仮面と透明性（オクタビオ・パス著）」

〔誌〕Estudios Hispánicos, 7号（大阪外国語大学イスパニア語研究室，1980年）執筆者 吉田秀太郎「ドノソの『ブルジョア小説3篇』について」・染田秀藤「¿No eran militares los encomendados? — en torno al movimiento contra las Leyes Nuevas」・山崎俊夫「ラテンアメリカの要求は融資か投資か」

〔誌〕『大阪経済法科大学経済学論集』

○3号（1979年3月）原田金一郎「ラテンアメリカの低開発の起源をめぐって」

○4巻1号（1979年10月）原田訳「メキシコのアシエンダと封建制から資本主義への移行（E・セーモ）」

○4巻2号（1980年3月）原田訳「ラテンアメリカにおける封建制と資本主義（E・ラクラウ）」

○5巻1号（1980年6月）原田訳「ペルーの現実解釈のための七つの試論(I)（J・C・マリアテギ）」

〔誌〕『現代詩手帳』（思潮社）

○23巻9号（1980年9月）特集オクタビオ・パス 鼓直訳「オクタビオ・パス詩抄」・牛島信明訳「孤独の詩と感応の詩（パス）」・野谷文昭訳「パスの詩的時間（C・フエンテス）」・座談会に鼓参加。

○24巻1号（1981年1月）野谷文昭「『隣接／仲介』 — パスの最近評論集」

〔籍〕P・ゴンサレス・カサノバ著 賀川俊彦・石井陽一・小林良彰訳『現代メキシコの政治』（敬文堂，1981年6月）価2,000円

〔籍〕『シュルレアリスムの詩』（思潮社シュルレアリスム読本1，1981年1月）鼓直訳「オクタビオ・パス」（詩10篇）・野谷文昭「パスのエロティシズム」

〔冊〕『資料，ラテンアメリカ』創刊号・2号（資料ラテンアメリカ刊行会，1982年6月，1982年10月）連絡先 ☎ 631 奈良市宝来町1230 奈良大学気付青木芳夫。内容：創刊号12頁メキシコの移住労働者に関する農地改革省調査報告（未公刊）の要約，第2号14頁同報告ラグナ地方事例研究部分の要約。

〔籍〕R・スタベンハーゲン著 山崎春成・原田金一郎・青木芳夫訳『開発と農民社会 — ラテンアメリカ社会の構造と変動』（岩波書店，1981年3月）

〔誌〕『南欧文化』8号（文流，1982年1月）植田覚「マヤ土器の文字の世界」・寿里順平「『米州スペイン語』論の前提」・染田秀藤「ラス・カサスとフェリペ二世 — ペルーのエンコミエンダの恒久化をめぐって — 」・山崎真次「十六世紀のヌエバ・エスパニーアのインディオ児童教育」

〔籍〕『南米における沖縄県出身移民に関する地理学的研究』（琉球大学法文学部地理学教室，1981年3月）文部省科研費による海外学術調査報告 田里友哲・中山満・石川友紀・島袋伸三・目崎茂和

〔籍〕『非国家的行為主体のトランスナショナルな活動とその相互行為の分析による国際社会学』（津田塾大学国際関係研究所国際社会学研究会，1980年3月）文部省科研費による総合研究報告 野谷文昭「1920年代のアブラと国際関係 — アヤ・デ・ラ・トーレの活動を中心に —」

〔籍〕A・ヒーリー，S・ラミレス，原田金一郎著 L A 研究センター編訳『革命のニカラグア — 過渡期社会とサンディニスタの挑戦 —』（植樫書房，1980年11月）訳者 林美智代・小林致広・上谷博・辻豊治・青木芳夫

〔籍〕『ブラジル南部外国人移住地域における住文化受容に関する比較調査』（大阪大学法学部・サンパウロ大学芸術・コミュニケーション学部，1982年3月）1980年度文部省科研費による海外学術調査報告 上田篤・大給近達・中岡義介・鳴海邦碩・盛岡通・加藤晃規・斎藤広志他

〔誌〕『ラテン・アメリカ研究』10号（ラテン・アメリカ協会，1980年3月）執筆者 恒川恵市・落合一泰・稲村哲也・小池佑二・八杉佳穂・高山智博

〔誌〕『ラテン・アメリカ研究』（筑波大学ラテンアメリカ特別プロジェクト研究組織）
○1号（1980） Mario Hiraoka
○2号（1981） Natural Environments, Agriculture, and Diseases in Northeast Brazil. 市川正己・田瀬則雄・松本栄次・林一六・Mario Hiraoka, 山本正三・花田毅一・小田桂三郎・安羅岡一男・井島宏,
○3号（1981） 福地崇生・前山隆他
○4号（1982） 山田睦男・花田毅一・小田桂三郎・松本栄次・林一六・安羅岡一男・山口誠也・福地崇生・比嘉正範・前山隆・碓氷尊（シンポジウム「ブラジルの自然と社会」），淵上隆

〔籍〕『ラテン・アメリカ産業経済統計収録1978年版』（ラテン・アメリカ協会，

1978年3月）

〔籍〕『筑波大学ラテンアメリカ特別プロジェクト年次報告書』

○1号（1978年度，1979年3月）市川正己・細野昭雄・加賀美充洋・山田睦男・西沢利栄・山本正三

○2号（1979年度，1980年3月）市川正己・福地崇生・高山智博・前山隆・国本伊代・細野昭雄・安羅岡一男・山田睦男

〔籍〕『国際環境の変化とラテン・アメリカ』（筑波大学ラテン・アメリカ特別プロジェクト研究組織ラテン・アメリカ研究シリーズ1，1980年3月）中川文雄・細野昭雄・山田睦男

〔誌〕『ラテン・アメリカ論集』2号（ラテン・アメリカ政経学会，1968年5月）大原美範・中川和彦・三谷弘・小林利郎

〔誌〕『立教大学ラテン・アメリカ研究所報』1号-11号（1973-83年）非売品

〔誌〕『琉球大学法文学部紀要史学・地理学篇』25号（1982年3月）中山満・島袋伸三・米盛徳市・石川友紀

〔籍〕ジョゼ・H・ロドリゲス著 富野幹雄・住田育弘訳『ブラジルの軌跡 — 発展途上国の民族の願望 —』（新世界社，1982年4月）

〔誌〕『拉丁美洲叢刊』（中国社会科学出版社，双月刊）1982年3号～1983年2号（通刊12号～17号）会報12号参照。

2 一般業績

〔抜〕青木芳夫，懲罰遠征隊（1916～1917年）— メキシコ革命とアメリカ — 『史林』60巻4号（1977年7月）

〔抜〕青木芳夫，メキシコの従属的工業化とカルデナス『歴史学研究』466号（1979年3月）

〔抜〕青木芳夫，組合国家主義と政治疎外 — カルデナス期メキシコ研究の一課題 — 『西洋史学』114号（1979年12月）

〔抜〕Aoki, Yoshio, Lázaro Cárdenas y la industrialización dependiente de México, 『奈良大学紀

要』8号(1979年12月)

〔抜〕Aoki, Yoshio, Nacionalismo mexicano y reforma bancaria(1917-1925), 『奈良大学紀要』10号(1981年12月)

〔抜〕青木芳夫, 現代メキシコ農業と多国籍企業『ラテン・アメリカ論集』14号(1980年)

〔抜〕青木芳夫, メキシコ革命とナショナリズム — 中央銀行創立をめぐる — 『史林』64巻4号(1981年7月)

〔抜〕青木芳夫, メキシコ中央銀行創立小史『ラテン・アメリカ論集』15号(1981年11月)

〔抜〕青木芳夫・蔵重毅(訳), 『第三世界と世界政治』研究会・資料紹介(3) 翻訳 Theotonio Dos Santos, "La crisis del milagro brasileño" 『神戸学院法学』9巻4号(1979年4月)

〔抜〕青木芳夫・蔵重毅(訳), 『第三世界と世界政治』研究会・資料紹介(4) 翻訳 Theotonio Dos Santos, "Brasil: La crisis de la dictadura" 『神戸学院法学』10巻1号(1979年6月)

〔抜〕石井章, メキシコの農村 — 二つのエヒードの調査から — 『アジア経済』10巻3号(1969年3月)

〔抜〕石井章, メキシコ国立自治大学社会学研究所『アジア経済』10巻3号研究機関紹介(1969年3月)

〔抜〕石井章, メキシコのエヒードの実態に関する覚え書『アジア経済』11巻3号, (1970年3月)

〔抜〕Ishii, Akira, Ejidos in Mexico: Actual Situation and Problems, The Developing Economies XI-3 (Sep. 1973)

〔抜〕石井章, ベルーの農地改革と農業協同化『アジア経済』12巻11号(1971年11月)

〔抜〕石井章, 学会だより日本ラテンアメリカ学会『アジア経済』22巻6号(1981年6月)

〔抜〕石井章, ベルーの農地改革と農業共同経営(斎藤仁編『アジア土地政策論序説』アジア経済研究所, 1976年)

〔抜〕石井陽一, ラテンアメリカにおける農地改革の特質『人文研究』59集(神奈川大学人文学会, 1974年5月)

〔抜〕石井陽一, ブラジルにおける人種と階級の相関『人文学研究所報』10号, (神奈川大学人文学会, 1976年6月)

〔抜〕石井陽一, スペイン系アメリカにおける人種と階級の相関『ラテン・アメリカ論集』9・10合併号(1976年)

〔抜〕石井陽一, ブラジルにおけるヨーロッパ移民と日本移民 — 文化変容の比較 — 『人文学研究所報』12号(神奈川大学人文学会, 1978年12月)

〔籍〕石井陽一『スペイン文契約書 — 実務と法制的背景』(芸林書房, 1979年2月) A5判138頁

〔抜〕石井陽一, スペイン国バレンシアの本裁判所における紛争処理方式について『研究年報』2号(神奈川大学法学研究所, 1981年3月)

〔抜〕石井陽一, イスパニダーの歴史的系譜『人文研究』82集(神奈川大学人文学会, 1982年2月)

〔抜〕石井陽一, スペイン鉱業法の一考察『神奈川法学』17巻2・3合併号(1982年3月)

〔抜〕石塚道子, マルチニク島におけるクレオール社会『民族学研究』41巻2号(1976年9月)

〔抜〕石塚道子, マルチニク島(アンチール諸島)の漁民社会における出産と育児をめぐる『地域文化』4・5合併号(1978年9月)

〔抜〕石塚道子, アンチール諸島クレオール社会構造研究 — 病気・医療行動にみられる基本観念と相互扶助システム(マルチニク島・タルタン地区の事例から) — 『研究報告』15号(大阪薫英女子短期大学, 1980年12月)

〔抜〕石塚道子, アンチール諸島クレオール社会構造研究 — 社会変動と宗教制度・組織 — 『研究報告』16号(大阪薫英女子短期大学, 1981年12月)

〔誌〕『地域文化』7号(地域文化学会, 1982年6月〔但し表紙には1980とあり]) 執筆者 石塚道子「マルチニク島に

おける新教会諸派の伸長現象 — アンチール諸島地域の開発問題への一考察 —」

〔籍〕稲賀淑子『現代メキシコ外交に関する一考察 — 対キューバ政策（1959～64年）分析を中心として—』（上智大学イベロアメリカ研究所，1979年4月）

〔抜〕今井圭子，C・ソルバーク著，移民とナショナリズム — アルゼンチンとチリ，1890年～1914年 — 『アジア経済』12巻11号（1971年11月）

〔抜〕今井圭子，アルゼンチンの移民に関する一考察 — 19世紀中葉から第1次大戦前まで — 『アジア経済』12巻11号（1971年11月）

〔抜〕大泉光一，メキシコの現地的経営組織文化の構造分析 — 日本型組織理論のメキシコ経営文化への移転性 — 『国際関係研究』創刊号（日本大学，1980年10月）

〔抜〕大泉光一，メキシコ公企業の構築過程の研究 — その組織形態と法的概念の考察を中心として — 『日本大学国際関係学部研究年報』2集（1981年2月）

〔複〕大西基夫訳，資料キューバ第一次・第二次農業改革法『愛知大学国際問題研究所紀要』51号（1972年？）

〔抜〕大西基夫，キューバの文盲一掃運動における手段と方法（一）『愛知大学国際問題研究所紀要』55号（1974年9月）

〔抜〕大西基夫，キューバの文盲一掃運動における手段と方法（二）『愛知大学国際問題研究所紀要』57号（1975年10月）

〔抜〕大西基夫，キューバ革命一七年間の歩み『愛知大学国際問題研究所紀要』61号（1977年12月）

〔抜〕遅野井茂雄，軍政と政治発展（1）（2）『アジア経済』19巻10号・11号（1978年10月11月）

〔複〕落合一泰，実存主義的バロック劇の世界 — ジョン・フォード作『あわれ彼女は娼婦』メキシコ上演を観て — 『新劇』（1980年6月）

〔抜〕假名垣宏，外来文化・思想とスペインの土着的風土（1） — 文学史からみたロマンセーロの成立過程 — 『外国語教育センター紀要』2輯（東海大学，1981）

〔牧〕亀田隆之，ナスカ地域のPuquioに

関する覚書『関西学院創立90周年文学部記念論文集』（1980年3月）

〔抜〕亀田隆之，アチラーナ（Achirana）用水の考察 — インカ帝国における灌漑の問題 — 『地域と文化』本位田重美先生定年記念論文集（n. p., n. d.）

〔抜〕加茂雄三，キューバ革命とソ連の到着『教養学科紀要』5号（東京大学教養学部，1968年3月）

〔抜〕加茂雄三，1920年代のラテン・アメリカ『岩波講座・世界歴史』26（1970年）

〔抜〕加茂雄三，1930年代のキューバ民族主義 — 33年革命を中心として — 『青山史学』3号（1973年）

〔抜〕加茂雄三訳，共産中国とラテン・アメリカ，1959年—1967年（C・ジョンソン著）『アジア経済』14巻3号（1973年3月）

〔抜〕川田侃，アジア太平洋地域協力の展望 — エル・コレヒオ・デ・メヒコでのシンポジウムを終えて — 『UP』9巻7号（東京大学出版会，1980年7月）

〔抜〕クアルトゥッチ，ギエルモ・蔵重毅訳，PRI研究について／楽観主義から懐疑へ—北アメリカ研究者の見たPRI — ロレンソ・マイエル／党の内外から — メキシコ人研究者の見たPRI — ホセ・ルイス・レイナ（「第三世界と世界政治」研究会・資料（五））『神戸学院法学』11巻1号（1980年6月）

〔抜〕国本伊代，メキシコ革命と日本：1913—1914『歴史学研究』434号（1976年7月）

〔抜〕国本伊代，メキシコ革命とウィルソン外交 — ウエルタ政権とウィルソンの不承認政策（1） — 『国際関係学研究』4号（津田塾大学，1978年3月）

〔抜〕国本伊代，メキシコ革命と日本，1916—1917『歴史学研究』455号（1978年4月）

〔抜〕国本伊代，戦前期における中南米移民と排日運動『日本帝国主義と東アジア』（小島麗逸編，アジア経済研究所，1979）

〔抜〕国本伊代，Investigaciones y estudios históricos sobre América

Latina en Japón : situación presente y problemas 『イベロアメリカ研究』2巻1号(1980年1月)

〔抜〕国本伊代, Japanese Diplomatic and Business Approaches toward Mexico, 1913-1914: Adachi and Mitsui Co. with Huerta 『国際関係学研究』6号(津田塾大学, 1980年3月)

〔抜〕国本伊代, The Formation of the Early Mexican Federal System : An Examination of the Financial Framework 『中央大学論集』1号(1980年3月)

〔冊〕国本伊代編『日本とラテンアメリカ』(中央大学商学部教養演習国本ゼミナール, 1980年5月)

〔複〕国本伊代, 1979年の歴史学界—回顧と展望— 『史学雑誌』89編5号(1980年5月) 中南米欄を執筆

〔技〕国本伊代, 現代メキシコの対日観 『現代ラテンアメリカの対アジア・アフリカ関係』8章(アジア経済研究所, 1980年7月)

〔抜〕国本和孝, カレル・ホルビック, フィリップ・L・スワン著「プエルトリコの工業化と雇用, 1950-1972」(書評) 『明治学院論叢』257号(1977年3月)

〔抜〕国本和孝, 若槻泰雄著「バナナの経済学」(書評) 『明治学院論叢』259号(1977年9月)

〔抜〕国本和孝, 日本の鉄鉱石輸入戦略と経済協力 『経済研究』59号(明治学院大学, 1980年)

〔抜〕蔵重毅, 米州集団安全保障政策の開始と二つの米州会議(Ⅰ), (Ⅱ) 『神戸学院法学』5巻4号, 7巻3・4号(神戸学院大学, 1975年6月, 1977年4月)

〔抜〕蔵重毅, 「第三世界と世界政治」研究会資料紹介(1) — メキシコ・ブラジルの対外政策に関する八論文 — 『神戸学院法学』8巻1号(1977年9月)

〔抜〕蔵重毅, 「第三世界と世界政治」研究会資料紹介(2) — 「従属理論」に関する八論文 — 『神戸学院法学』8巻2・3号(1977年12月)

〔抜〕山本純一・蔵重毅訳, ロレンソ・メイエル, マヌエル・カマーチョ 「メキシコの政治学 — その発展と現状 —」 — 「第三世界と世界政治」研究会資料(6) — 『神戸学院法学』11巻3号(1981年2月)

〔複〕Koizumi, Junji, Determinancy and indeterminacy in cultural process : an analysis of religious conversion in a Guatemalan village (Paper read at the Annual Meeting of the Southwestern Anthropological Association, Santa Barbara, Cal., March, 1981)

〔複〕小林致広, 「アステカ帝国」の成立過程 — 土着史料による試み — 『史林』58号2号(1975年3月)

〔抜〕小林致広, メヒカの絵文字 『季刊人類学』7巻3号(京都大学人類学研究会, 1976)

〔抜〕小林致広, 「帝都」メヒコにおける食料調達の問題 — 貢納表の分析研究 — 『史林』62巻4号(1977年7月)

〔抜〕小林致広, 地域的報告書とその絵地図 — 1580年代新スペインの事例 — 『人文地理』29巻4号(1977年8月)

〔抜〕小林致広, アステカ期メキシコ盆地の領域構造 『人文地理』32巻2号(1980年4月)

〔抜〕小林致広, アメリカ大陸の原住民運動 — バルバドス第2宣言をめぐって — 『神戸外大論叢』32巻5号(神戸市外国語大学研究所, 1981年12月)

〔抜〕小坂かずみ, メキシコのクリステロス戦争 『国際関係学研究』別冊Ⅱ(津田塾大学, 1981年3月)

〔冊〕佐藤明夫, Legal Aspects of Landownership in Colonial Spanish America (IDE Special paper No.2 アジア経済研究所, 1976年)

〔冊〕ブラジル文学翻訳会訳, ロドリゴ大尉の話 — サンタ・フェにきた男その1(エリコ・ヴェリッシモ著, ブラジル文学翻訳会, 1980年3月) 翻訳分担者満留久美子・木藤幸枝・西川牧子・青木美恵子・林正子・藤田由美, オリエンテーター佐野泰彦

〔抜〕新川健三郎, The Role of the

Export-Import Bank in U. S. Economic Diplomacy toward Latin America 『東京女子大学論集』20巻合併号 (1970年3月)

〔抜〕寿里順平, インディオ社会と現代ラテン・アメリカ 『人文論集』6号 (早稲田大学, 1962年2月)

〔抜〕住田育法, ポルトガルの宰相ボンバル侯とその時代 『COSMICA』10号 (京都外国語大学, 1981年3月)

〔抜〕高林則明, ミゲル・アンヘル・アストゥリアスと『トウモロコシの人々』の小説世界 (I), (II) 『阪南論集』人文・自然科学編16巻3・4号, 17巻1号 (阪南大学, 1981年)

〔抜〕高林則明, Re-creacion de la cosmogonia mesoamericana — Una interpretación de la trama de HOMBRES DE MAIZ de Asturias bajo el enfoque mítico-religioso — 『COSMICA』11号 (京都外国語大学, 1982年3月)

〔抜〕高山智博, メキシコ文化の形成 — 混血の論理 — 『思想』1973年6号 (岩波書店)

〔抜〕恒川恵市, カストロ運動の革命性とその形成過程 『歴史における民族と民主主義』 (1973年度歴史学研究会大会報告, 1973年11月)

〔抜〕恒川恵市, 従属アプローチの発展と現状 — A・G・フランクをこえて — 『思想』1980年7号 (岩波書店)

〔抜〕恒川恵市, 革命と自動車 — メキシコ自動車産業政策に見るナショナリズムと社会改革 — 『国際政治』65号 「社会主義とナショナリズム」 (日本国際政治学会編, 1980年11月)

〔抜〕恒川恵市, 権威主義体制のアペルトゥーラ (開放) — エチェベリーア期 (1970-1976) メキシコの国家-労働組合関係を例として — 『教養学科紀要』13号 (東京大学教養学部, 1981年3月)

〔抜〕中川和彦, ラテン・アメリカ法研究序説 『ラテン・アメリカ論集』2号 (ラテン・アメリカ政経学会, 1968年5月)

〔抜〕中川和彦, メキシコ金融制度の成立

と発展 (1) 『経済研究』37号 (成城大学, n. d.)

〔抜〕中川和彦, スペインにおける経済法 『経済研究』26号 (成城大学, n. d.)

〔抜〕野谷文昭, パブロ・ネルーダと自然: 農業イメジについて 『津田塾大学紀要』8号 (1976年3月)

〔抜〕野谷文昭, パブロ・ネルーダと自然: 水ないし海のイメジについて 『津田塾大学紀要』9号 (1977年3月)

〔抜〕野谷文昭, 詩と政治: パブロ・ネルーダの作品における政治詩の意味 『国際関係学研究』3号 (津田塾大学, 1977年3月)

〔抜〕野谷文昭, 1920年代におけるアブラと国際関係 — 主にアヤ・デ・ラ・トーレの活動を中心に — 『国際政治』59号 非国家的行為体と国際関係 (日本国際政治学会, 1978年)

〔抜〕野谷文昭, スペイン現代詩の展開 『国際関係学研究』6号 (津田塾大学, 1980年3月)

〔抜〕原田金一郎・加茂雄三, ラテンアメリカの経済発展 『経済学大辞典』3巻 (東洋経済新報社, 1980年9月)

〔抜〕原田金一郎訳, エンリケ・セーモ 「メキシコ資本主義史 — その起源, 1521-1763年 — (1)」 『経済学論集』6巻3号 (大阪経済法科大学, 1981年12月)

〔抜〕Fukushima, Masanori, Presidencialismo no Brasil (掲載誌・年不明)

〔複〕福地崇生, 細野昭雄, ラテンアメリカ製造業の生産関数 『アジア経済』12巻11号 (1971年11月)

〔複〕Fukuchi, Takao, & Hosono, Akio, Size of Economy and Aggregate Production Function: The case of Latin America, The Developing Economy 10巻2号 (アジア経済研究所, 1972年6月)

〔複〕Fukuchi, Takao, & Hosono, Akio, The Economic Integration Effects of the Andean Common Market, The Developing Economies 11巻 (アジア経済研究所, 1973年6月)

〔抜〕古館豊, 明治期における海外移住の動向 — メキシコ契約移民の場合 — 『史叢』24号(日本大学史学会, 1979年12月)

〔冊〕『文流洋書目録』17号(1982年) 郵便振替口座番号 東京3-169796

〔複〕細野昭雄, ラテン・アメリカの「構造学派」『アジア経済』6巻1号(1965年1月)

〔複〕細野昭雄, プレビッシュの経済思想『アジア経済』6巻3号(1965年3月)

〔複〕Hosono, Akio, Japan's Economic Relations With Latin America: Prospects and Possible Lines of Action, Latin America in the International Economy (Ed. Urquidi & Thorp, MacMillan, 1973) IEC(International Economic Association)のメキシコ市大会の報告

〔複〕細野昭雄, チリの経済構造と経済政策(1) — アジェンデ政権の成立まで — 『アジア経済』14巻11号(1973年11月)

〔複〕細野昭雄, チリの経済構造と経済政策(2) — アジェンデ政権の成立まで — 『アジア経済』15巻2号(1974年2月)

〔冊〕Hosono, Akio, Industrial Development and Employment: the Experience of Asia and Latin American Development Strategy, Reprint Series No 14 (筑波大学 Institute of Socio-Economic Planning) Reprinted from CEPAL Review 2nd Semester 1976.

〔籍〕細野昭雄『中南米の経済統合の現状と展望』(世界経済情報サービス, 1976年8月) B5判324頁 細野執筆, 収録資料の編集は発行者

〔複〕Hosono, Akio, Economic Relations Between Latin America and Japan (Santiago, 1977年11月) 報告学会不明

〔複〕細野昭雄, プレビッシュ理論の核心と意義(掲載誌・年等不明)

〔複〕細野昭雄, 新経済秩序下のラテン・アメリカ(掲載誌・年等不明)

〔複〕細野昭雄, アルゼンチンの外国貿易

と経済発展『アジア経済』巻号不明

〔抜〕Takashi, Maeyama, A Minority Group in an Underdeveloped Nation: The Japanese Case in Brazil, Studies in Humanities No 13 (信州大学, 1979年3月)

〔抜〕Maeyama, Takashi, The Masters versus the Slaves under the Plantation Systems in Brazil: Some Preliminary Considerations, Latin American Studies (筑波大学, 1981年3月)

〔抜〕増田義郎, 地域研究の問題点『教養学科紀要』13号(東京大学教養学部, 1981年3月) シンポジウム報告「中南米」

〔冊〕松浦芳枝『チリ政治における軍部 — 人民連合政府の対軍戦略を中心として —』ラテンアメリカ研究(I. L. A.)シリーズ7(上智大学イベロアメリカ研究所, 1980年10月)

〔抜〕松下洋, ラテンアメリカ・ナショナリズムの展開『変わりゆく国際関係』名古屋国際関係研究会編(有信堂, 1976年)

〔抜〕松下洋, ペロンとその政治理念 — 軍人的改革者の一例として — 『国際政治』57号第三世界政治家研究(日本国際政治学会編, 1977年)

〔抜〕丸谷吉男, メキシコの経済成長と産業政策 — 国境地帯工業化計画をめぐる諸問題 — 『アジア経済』14巻8号(1973年8月)

〔抜〕三谷弘, ペルーにおけるIPC接収問題とベラスコ政権『アジア経済』14巻3号(1973年3月)

〔抜〕三谷弘, ペルー国立図書館略史 — 付: 同図書館の組織と政策 — 『参考書誌研究』17号(1979年2月)

〔抜〕三橋利光, 土着・外来宗教と国民意識の形成『国際学論集』1巻1号(上智大学国際関係研究所, 1979年1月) LaFaye, Quetzalcoatl et Guadalupe (1974)の書評

〔複〕三橋利光, メキシコ革命前の中産階級の位置づけ — ポルフィリオ期を中心として — 『イベロアメリカ研究』1巻1号(上智大学, イベロアメリカ研究所, 1979年

7月)

〔複〕三橋利光訳, デイヴィッド・C・ベイリー「メキシコ革命に関する修正学派と最近の研究動向」『イベロアメリカ研究』2巻1号(上智大学, イベロアメリカ研究所, 1980年4月)

〔抜〕宮井隆, サン・インドロの集落と地割 — メキシコ中央高原エヒドの村から — 『人文地理』27巻4号(1975年8月)

〔抜〕宮井隆, 北摂農村の農地改革 — 箕面市の場合 — 『人文研究』73集(神奈川大学人文学会, 1979年4月)

〔抜〕宮井隆, メキシコ農業の地域性『神奈川大学創立50周年記念論文集』(1979年11月)

〔抜〕宮井隆, メキシコの集団エヒドについて — ラグーナの場合 — 『経済地理学年報』26巻4号(1980年)

〔抜〕宮井隆, 満州移民と農地改革 — 長野県旧大日向村の事例 — 『人文研究』79集(神奈川大学人文学会, 1981年4月)

〔抜〕宮井隆, ラテン・アメリカの文化地理試論『人文学研究所報』15号(神奈川大学人文学会, 1981年6月)

〔抜〕宮野啓二, ラテン・アメリカにおけるラティフンディオと原住民共同体 — 史的考察 — 『広島大学経済学部紀要, 年報経済学』2巻(1981年3月)

〔籍〕山崎俊夫『国際構造比較の経営学』上・中・下(関西学院大学生生活協同組合出版委員会, 1973年1月, 9月, 1974年3月)

〔籍〕山崎俊夫『国際構造比較の経営学・続』2巻(関西学院大学生生活協同組合出版委員会, 1976年12月, 1978年7月)

〔抜〕山崎俊夫, イスパニア国婦人労働 — 1961年7月22日法律第56号を中心に — 『学報』53号(大阪外国語大学, 1981年)

〔抜〕山崎俊夫, イスパニア国水法百年(3) — 条文訳, 及び民法及びメキシコ国憲法第27条との若干の対比 — 『大阪外国語大学学報』55号(1982年)

〔抜〕山田睦男, ブラジル日系人の社会的地位とその上昇『アジア経済』12巻4号(1971年4月)

〔抜〕山田睦男, 現代ブラジルの権威主義体制とイデオロギー『アジア経済』17巻1・2号(1976年2月)

〔抜〕乗浩子, ブラジル軍部の性格と政策『世界経済』(1976年5月)

〔抜〕乗浩子, ブラジル・ミilitarizムの系譜『世界経済』(1978年5月)

〔複〕乗浩子, 現代ラテンアメリカの国家と社会『アメリカ史研究』3号(1980年)

〔抜〕乗浩子, ラテンアメリカの宗教と政治 — カトリック教会と軍政 — 『世界経済』(1981年5月)

* 1983年1月以降の到着分は『会報』12号・13号の「近着会員業績」欄に掲載してあります。

* 本付録を刊行するのは書誌として役立つためでありまして, 事務局では原則として閲覧・貸出・コピーサービスといった図書館業務はいたしませんので御了承ください。

* 略号は下記の通り

〔籍〕 書籍(背文字のあるもの)

〔冊〕 小冊子(パンフレット, 背文字のないもの)

〔誌〕 雑誌(定期刊行物)

〔抜〕 抜刷

〔複〕 写真複写

№13 別冊 1983年10月10日発行

日本ラテンアメリカ学会事務局

〒153 東京都目黒区駒場

3-8-1

東京大学教養学部8号館

中南米分科気付

☎03(467)1171

内線579